

159.8
A1410
V



国立国会図書館 タイトル『拗論』 請求記号 159.8-A1410-0

ガラス使用

福山侯著
太田方跋

物論

(國語研究志所卷
系 下 七 示 字 半)

人ニモナリタルニハアラス夏ノ中ニ小袖ヲシタテ

159.8
A141o
0

物論自序

物ハモトルトヨミテ世ニ云モンチナルナリト
同シ世間ノ事夏冬ノ熱キモノ冬ハ寒キモノトノミ
心得タルモノ多シ然レモ夏モサムキナリ
冬モ暖ナルナリ白キトシルニ黒キアリ黒キ
ト思フニモ白キナリサレハ片々ヨリテシル時
ハ古語ノ懸柱ニ膠スルノルイニテ世ニイフ
杓子定規ナルナリモアラシ我此論ハタ、世ノ
人ニモナリタルニハアラス夏ノ中ニ小袖ヲシタテ



336414

廿七冬ノ間ニカタヒラヲ忘レサランタメノ戒ト
シテ我獨居ノ座者ノ銘トナスノミ

緒水館主人題

此の書は緒水館主人の題したものである。内容は、
遠所好而近所忌
急緩事而緩急事
重常而輕變
貴舊而賤新
疎近而親遠
抗尊而下卑
擇智而用愚
火性執微

遠所好而近所忌
急緩事而緩急事
重常而輕變
貴舊而賤新
疎近而親遠
抗尊而下卑
擇智而用愚
火性執微



刀用不利
弓欲弱馬欲遲
娶不擇美不厭醜

老子曰正言若反此心ハ凡天下ノ正論ハ一世ノ常言ニモトルカ如シトナリ故ニ常人見テ是ナリトスルヲ反テ非ニ安トスルヲ反テ危ク一切ノ事前後左右上下相反スルナリ是ノ道理人或ハ口ニイヘ氏心實ハシラス唯聖知ノ人ノミヨク斯ニ觀テアリ吾

老子曰正言若反此心ハ凡天下ノ正論ハ一世ノ常言ニモトルカ如シトナリ故ニ常人見テ是ナリトスルヲ反テ非ニ安トスルヲ反テ危ク一切ノ事前後左右上下相反スルナリ是ノ道理人或ハ口ニイヘ氏心實ハシラス唯聖知ノ人ノミヨク斯ニ觀テアリ吾

老子曰正言若反此心ハ凡天下ノ正論ハ一世ノ常言ニモトルカ如シトナリ故ニ常人見テ是ナリトスルヲ反テ非ニ安トスルヲ反テ危ク一切ノ事前後左右上下相反スルナリ是ノ道理人或ハ口ニイヘ氏心實ハシラス唯聖知ノ人ノミヨク斯ニ觀テアリ吾君曰此御著述書ヲ出シテ示シ玉ヒ又謹テコレヲ披キテ熟讀シ始テ正論ノ及セルカ若キノ実ヲ知レリ道在邇而求諸遠事



在易而求諸難カノ大道ハ日用平生ノ間
在テ淺近ナルヤウナレ反テコレヲ忽ニシナシ
カタク行ヒカタキヲ求ム是身ヲ終ルマテ
勞スル功ナカルヘシ卑語ニ負タル兒ヲ三年
尋ルト云ル風情ナリ右ニ手アラハ左ヲ見ル
ヘシト棋経ニイヘルコトク樂ハ若ノ種若ハ樂ノ
種ト云ヒテ已カ私ニ克ク禮ニ復ラハハ亦
此書者、旨ニ叶ヒテ過テル下寡ナカラシ
カ鳴乎、永ク此御書ヲ寶トシ斯御コトハ

ヲ事トセンコトヲ思フ吾子々孫々コレヲ
思ヘヤコレヲ思ヘヤ

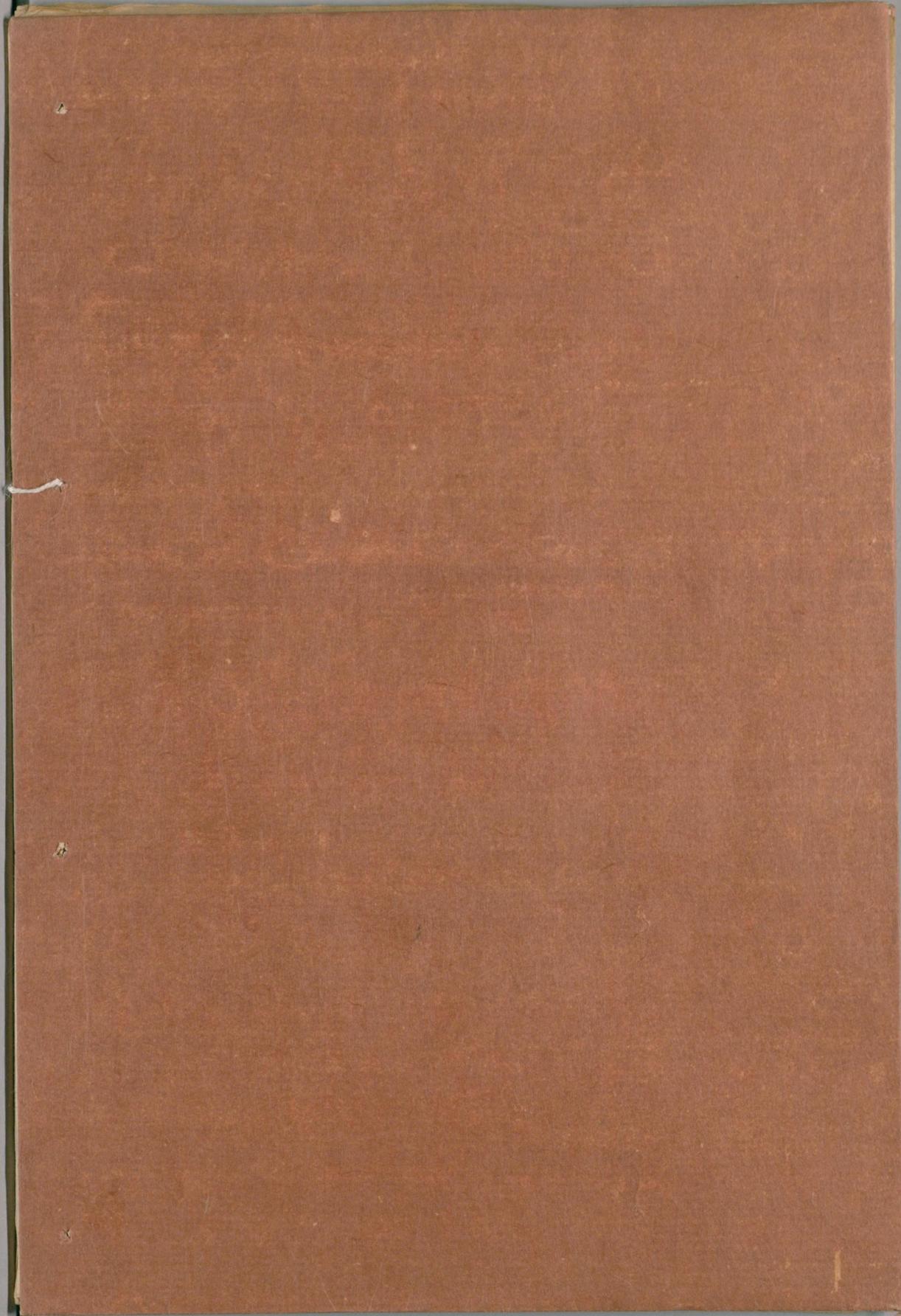
享和紀元孟夏之月

臣太田方謹志

336414

在易而求諸難力ノ大道ハ日用平生ノ間

易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ
易ノ道ハ大道ニシテ日用平生ノ間ニ在リ



国立国会図書館 タイトル『拗論』 請求記号 159.8-A141o-0

ガラス使用